



松梅タイムズ

学校教育目標 ふるさと松梅を担う心身共に調和のとれた子どもの育成

令和6年11月15日（金）発行
第14号
文責 校長 湊谷 健

令和6年度佐賀市コミュニティスクール認定

屋間はまだ気温 20℃以上を上回っている日が多く、少し暑いと感じることもありますが、さすがに 11 月中旬ですので、日の出時刻も 7 時近くになり、私が家を出る時間の 6 時 15 分ごろは暗く、かなり冷え込んできました。鳥栖市から川久保線を通り、背振方面に上がって松梅に来ていますが、先日は運転中に背振で車の気温計が冬並みの 6℃となり、びっくりしました。また、先日、北山を通過して唐津に向かうことがありましたが、松梅よりは樹木が赤や黄色に色づいており、温暖化の進む昨今は期間が短いのですが「秋」を感じられました。しかし、昨日のニュースでは、みやき町中原の簔原では現在ヒマワリが一面に咲いているとのことで、季節もボーダーレスといった感じでしょうか。（このヒマワリは調整してこの時期に咲くようにしておられるようです。）以前はイチョウやモミジがきれいに紅葉し、落ち葉を拾って楽しんでいた記憶がありましたが、最近では紅葉狩りも楽しむ間もなく、あっという間に「雪」が降るという時期になってしまいそうです。昨年も確か 12 月の終業式ごろに雪が降ったように記憶しています。改めて季節の移ろい方が以前とは「ずれてきている」ことに不思議さと残念さを感じます。

人権講演会「松梅しゃべり場」へのご参加、ご協力ありがとうございました。



本校と育友会の共催という形で 8 日（金）の 5 時間目に人権講演会「松梅しゃべり場」を行いました。講師は学校の隣に引っ越してこられた S 先生（佐賀大学医学部看護学科教授）とご主人の K 先生（九州大学大学院客員教授）にお願いしました。保護者様や地域の方だけでなく、S 先生の人脈で、当日は 50 名以上の校区外の大人の方に、遠くは長崎や鹿島からもお越しいただきました。写真のようにトークフォークダンス形（懐かしのオクラホマミキサー）の要領で 1 分ずつ与えられたお題について向かい合った児童と大人が話して、終わったら挨拶をして反対方向にずれていくという方法で数多くの人と話をするという流れでした。私は「本校の児童生徒は初対面の人とうまく話せるだろうか？緊張して話せない子も多いだろう。」と思っていましたが、杞憂に終わりました。児童生徒は予想以上に自分のことを話し、そして相手の話を傾聴し、コミュニケーションを取れていたと思います。ダイバーシティ（多様性）という言葉がよくつかわれていますが、今回の講演会の中で、大人も子供もいろいろな見方、考え方、これまでの経験をもった多様な人がいることに気づき、相手を理解しようという気持ちが少しでも芽生えていたら大成功だったのではないかと思います。私もこの会の後に多くの校区外の方に話しかけられ、「松梅の子どもたちはとてもいいですね」「素直な子ばかりでした。」「中学生はさらにしっかりしてますね。」と褒められ嬉しくなりました。児童生徒も「楽しかった」「自分がこんなに話せるとは思わなかった」「大人のひとと話す面白い」という感想を述べていました。S 先生、K 先生、企画、準備していただいた育友会本部の皆様、ありがとうございました。

柿ちぎり＆小学部 1～4 年の柿むき練習会を行いました。

翌 9 日（土）は明後日にせまった 17 日（日）の柿むき大会に向けての柿ちぎりを行いました。お休みだった日にもかかわらず、保護者の皆様にも早朝から多くの柿を児童生徒とちぎっていただきました。また小学部前には立派な柿ハウスが完成しました。今年は「裏の年」だったのか分かりませんが、学校から見える範囲の柿は昨年よりも少ないような気がしましたが、皆様のおかげで予定通りの千数百個の柿をそろえることができました。また 12 日（火）には Y 様をはじめとする柿むき名人 4 名の方に小学部 1～4 年生の児童を対象に柿のむき方について手ほどきを受けました。私も昨年初めて柿むき包丁を握って柿をむきましたが、

柿を回しながらむくという感覚にはたどり着けませんでした。児童の中にはすでに柿を器用にくるくると回しながらあっという間に 1 個むいてしまう子もいてびっくりしました。



柿を提供していただいた三反田地区、公民館、そよかぜ館、広坂地区の皆様、副会長の西様ありがとうございました。また当日お越しいただいた保護者の皆様もありがとうございました。17 日（日）柿むき大会本番もよろしくお願いします。なお、当日は佐賀市地域政策課と NPO 法人 Murark 様が「移住のための見学ツアー」を組まれています。福岡市や県内各所から数世帯が柿むき大会と学校や保育所を見学に来られます。松梅を気に入ってもらい住んでもらいたいですね。もちろん今回も柿むき大会には各テレビ局、新聞等の報道が入る予定です。

大和町人権標語コンクール表彰式の様子

10 日（日）には大和町のウェルネスで人権標語コンクールの表彰式と講演会がありましたので、校長が参加しました。今回は小学部は残念ながら選に漏れ、表彰を受けたのは中学部の 4 名でしたが、どれもよい作品ばかりでした。本校の入賞作品です。

最優秀賞	「傍観者 気づかぬうちに加害者に」	〇〇	〇〇
最優秀賞	「考えよう 自分を相手に置き換えて」	〇〇	〇〇
優秀賞	「勇気を出し 声を出せば 脱傍観者」	〇〇	〇〇
優秀賞	「ありのまま それでいいんだ 多様性」	〇〇	〇〇



地震・火災避難訓練を行いました。



13 日（水）には佐賀北消防署に来ていただき、地震及び火災の避難訓練を行いました。迅速に避難ができ、とても良かったと消防署の方々にも褒めていただきました。本校は 1 学期に大雨による避難・引き渡し訓練、2 学期に不審者侵入を想定した避難訓練、そして今回の地震及び火災避難訓練をやっています。すべての大雨、不審者侵入、地震、火災いずれのケースも起きないことに越したことはありません。

しかし、実際は起きるかもしれないと思って訓練を実施しています。福岡の警固断層や佐賀の南部にも断層はあります。地震が起きないという保証はありません。いつ起きても自分の安全が守れるように各種の避難訓練は続けたいと思っています。北消防署からは、「実施予定日時を生徒・職員に一切知らせない、知っているのは管理職だけというシークレットのぶっつけ本番の避難訓練を行ってみては？」という提案もいただきました。いつ起こるのか分からないのが災害ですので、これはいつかやってみたいと思います。もちろん緊急放送の冒頭には「突然ですが、今から避難訓練を行います」ことは告知します。

通勤途中に車で名尾方面を走っていると「かかし村の村人たち」に毎日出会います。全校朝会で児童生徒には話しましたが、かかしは語源は「匂いを嗅がせる」から「嗅がし」「かかし」となったそうです。獣の肉を焼いて嫌なおいを動物たちに嗅がせて、畑に近づかないようにさせたとのこと。同時に豊作を祈ってかかしに山の神を宿らせ立てたものという説もあるようです。この説が本当なら、まさに松梅の豊作を担う守り神のような存在ですね。

